

# コロナ禍の青木杯健康福祉ふれあい ティーボール大会を振り返って

ミアヘルサ株式会社 審議役  
奈良 泰 敬

吉村理事長の「ティーボール愛」と青木会長の「感動」が共鳴して始まった「青木杯健康福祉ふれあい大会」は、理念の一致により全く野球関係者が少ない四世代が一堂に会する大会として歩んでまいりました。最大の特徴は、理事長・会長の柔軟な考え方と協会役員・早稲田大学生皆様の献身的な奉仕の精神による支援があればこそこの大会でした。

コロナ禍になり、関東健康福祉大会が中止になりました。

コロナ禍1年目の青木杯はホップ段階として初任者研修会に変身しました。

視点1、前提条件として、

- ①第6回大会から、保育園の職員が参加
- ②第7回大会から初任者研修として介護施設の職員が参加
- ③藤本評議員と私は吉村理事長の「ティーボール概論」故丸山顧問の「ティーボール・ティーチャー指導法実習」を受講して「T.T.A 特別公認指導者認定証」をいただいていたこと。

視点2、理事長・会長の柔軟な思考・判断のもと実施できることになりました。

- ①会長から初任者研修会として三密対策が万全である事を条件に許可頂きました。
- ②初任者研修会を「T.T.A 初級公認指導者認定講習会」とし、実習の最後の試合経験を大会とする案が、理事長から快く許可が頂けた上、久保田常務理事の派遣に至るまで手配して頂きました。
- ③施設利用者、早稲田大学生の参加は当然無理でしたが、会場を「南流山保育園ひびき」（概論）「流山市中央公園」（実技）において開催できました。

視点3、「T.T.A 初級公認指導者認定講習会」は、社内初任者研修会としても職種に関係なく有意義な内容です。

- ①「概論から」吉村理事長の熱意、できないに合わせてもよいスポーツがあることが嬉しかった。
- ②「実習から」ティーボール・ティーチャーは、先生として指導する役割は介護職員にも求められる。
- ③介護・保育・管理職員の他・市議会議員、県事務局長、兄妹・子・姪も参加した「ふれあい」から、初対面でも様々な人々との仲間づくりのきっかけになる。

というような感想が寄せられました。

コロナ禍2年目はステップ段階として、初任者研修会は、すそ野を拡げました。

視点1、流山市、流山市教育委員会から後援を頂きました。

- ①菅野市議会副議長の仲介により、流山市教育委員会、には「ティーボール指導教本」「ティー

ボール体育解説」を各100冊市内の小学校へと寄贈しています。

②菅野市議会副議長の仲介により、後援を戴いたことは大きな成果でした。

視点2、少年野球チームの関係者が参加しました。

①南流山小学校校長から、校庭を使用している野球チームを紹介して頂きました。

②南流ファイターズと全国大会の交渉を行い参加して頂きました。

視点3、ティーボールは企業研修にも最適なスポーツ・レクである確信を持ちました。

①介護の新入社員に加えて内定者も含めて行いました。

②業務に関する感想には「ティーボールを通じて“どうしたらできるか”“どのように伝えたらよいか”相手の立場に立って考える事の重要性」を学びました。

③他部署の方とも、自然体でのコミュニケーションがとれ「教え合い」「助け合い」「手を差し伸べる」指導を学びました。「ティーボールの精神は、温かい環境、平和を願う心を持つ人によって作っていけるものだと思います。」など、世代を超えて有意義であると考えられる優れた研修会になると思いました。

コロナ禍3年目はジャンプ段階として充実した横断幕とのふれあい大会になりました。

視点1、早稲田大学の教室で、理事長が講義する貴重な講習会を開催して頂いた。

①理事長の「ティーボール愛」の熱意を直接聞き参加者に感動を与えました。

②野球指導者は、心新たにこれからの活動の糧となるよう決意しました。

③業務に「ユニバーサルデザイン」を入れ活動しようと考えました。等々

視点2、紅葉の美しい自然に囲まれた早稲田大学所沢野球場で大会が行われました。

①施設利用者様・職員と早稲田の学生との「ふれあい大会」ができました。

70代から90代までの利用者様が楽しめる仕組みが理事長の柔軟な考えのもとに散りばめられています。

②実習で久保田先生から指導者としての在り方を学ぶことができました。大会でも、小学校教諭が打法を詳しく指導され納得していました。

③多種多様な方が参加しての「青木杯争奪大会」ができた。等々

視点3、青木杯争奪大会の優勝は、最高齢チームだったことです。

①フレッシュチーム(21.7)、保育園チーム(26.7)、本部・介護・食品チーム(45.2)、教育軍団チーム(53.7)のチーム分けをしました。

②優勝常連足立・後藤評議員率いる本部・介護・食品チームが本命と思っていました。初戦で教育軍団チーム(70代3、60代1、50代1、40代4、20代1)が勝ち上がってしまいました。勝因は作戦を立てたかどうかの差か???.

③現役の小学校の先生が参加し優勝カップは1か月間小学校で飾ってもらいます。

結論として、小学校の先生方への普及の第一歩になり、「ティーボールは年齢差に関係なく楽しめる奥深いスポーツであり、対等にプレーし続けることもできるスポーツである。」と実感できる初任者研修会・ふれあい大会になりました。